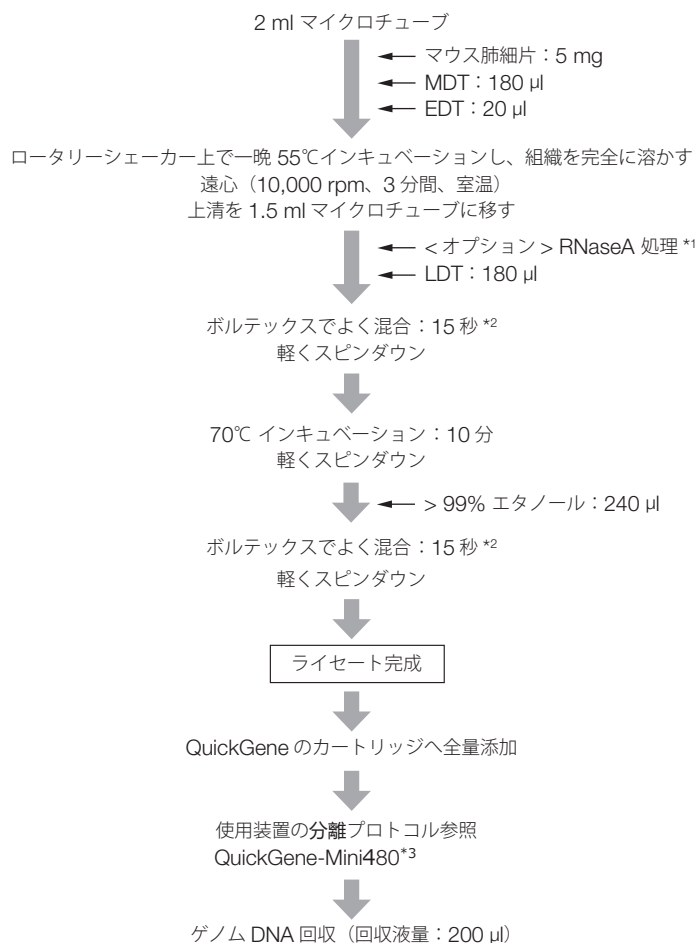


DA-b-5

マウス肺からのゲノムDNA分離

プロトコル



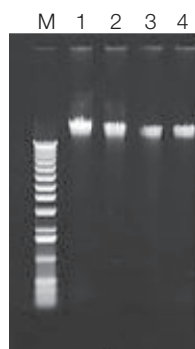
*1 オプションステップ
RNaseA : 20 µl
タッピングして溶液を混合
軽くスピンドウン
室温で 2 分間放置

*2 ボルテックス (最大回転数) で完全に混合してください。
ボルテックスで混合不十分ならば、タッピング、ピペットイングまたは転倒を使用してください。

*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

■ マウス組織からの分離ゲノム DNA のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



M : サイズマーカー
1 : 肺組織サンプル
2 : 腎臓組織サンプル
3 : 尾組織サンプル
4 : 肝臓組織サンプル

■ 電気泳動図

データなし

■ ゲノム DNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入 : A260/280

データなし

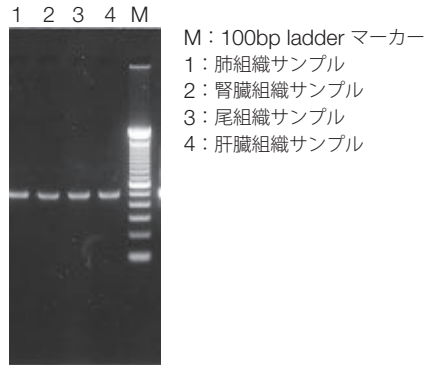
■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

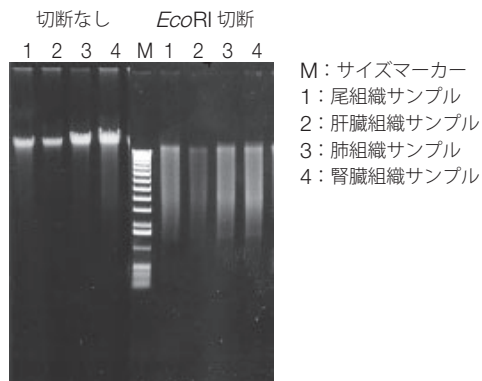
● PCR

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA で増幅された *G3PDH* PCR 断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



● 制限酵素切断

QuickGene 分離システムと試薬を用いてマウス組織から分離されたゲノム DNA での *EcoRI* 制限酵素切断断片のアガロースゲル電気泳動 (AGE)



■ 共通プロトコルサンプル

マウス腎臓、マウス肝臓